



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社
 コード番号 5013 URL <http://www.yushiro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大胡 栄一
 (氏名) 宮澤 尚徳

TEL 03-3750-6793

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,011	△5.1	1,873	9.2	2,365	△3.2	1,449	△28.4
28年3月期第3四半期	23,200	6.4	1,715	44.6	2,444	24.3	2,024	38.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △65百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 405百万円 (△84.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	106.01	—
28年3月期第3四半期	146.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	38,518	27,396	66.7	1,893.40
28年3月期	39,168	28,536	68.5	1,935.65

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 25,708百万円 28年3月期 26,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
29年3月期	—	15.00	—		
29年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△5.5	2,200	1.4	2,800	△5.0	1,600	△19.7	117.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	13,900,065 株	28年3月期	13,900,065 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	322,176 株	28年3月期	46,519 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	13,669,833 株	28年3月期3Q	13,853,592 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業と家計の所得面での安定性により個人消費が底堅く推移しており、緩やかではありますが回復傾向にあります。世界経済についても調整局面に入っている中国等の不安定要素があるものの、日本経済同様に持ち直し方向にあります。

このような環境下、売上高は前年同期比5.1%減の22,011百万円となりました。また、営業利益は前年同期比9.2%増の1,873百万円となりました。経常利益は為替差損の影響で前年同期比3.2%減の2,365百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円の計上があった関係で、前年同期比28.4%減の1,449百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

販売数量では前年同期を上回っているものの価格改定の影響により、セグメント売上高は、前年同期比4.9%減の12,104百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、原価低減等に努めた結果、前年同期比17.5%増の596百万円となりました。

②南北アメリカ

好景気に牽引される形で好調なアメリカ・メキシコ、底を脱した感のあるブラジルの各子会社は現地通貨ベースでは前年実績を上回っているものの、為替の影響によりセグメント売上高は、前年同期比2.1%減の3,939百万円となりました。セグメント利益は、原油安による原材料価格の下落及びメキシコの黒字化により前年同期比48.9%増の382百万円となりました。

③中国

現地通貨ベースでは前年実績を上回っているものの為替の影響により、セグメント売上高は前年同期比12.3%減の3,072百万円となりました。セグメント利益も売上高と同様為替の影響により、前年同期比10.5%減の480百万円となりました。

④東南アジア／インド

各国とも底堅い成長を保つ中、自動車生産台数は微増もしくは微減に留まっていますが、各子会社では既存顧客でのシェアアップにより現地通貨ベースでは増収となりました。しかし為替の影響によりセグメント売上高は、前年同期比1.9%減の2,895百万円となりました。セグメント利益は、為替及びインドの赤字が続いている影響もあり前年同期比2.1%減の393百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、38,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ649百万円減少しました。主な要因として、「現金及び預金」が443百万円、「投資有価証券」が204百万円増加したものの、「有形固定資産」が686百万円、「有価証券」が340百万円、「商品及び製品」が162百万円、「無形固定資産」が150百万円減少したことによります。

負債は、11,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ490百万円増加しました。主な要因として、「未払金」が376百万円、「賞与引当金」が249百万円減少したものの、流動負債の「その他」が381百万円、「厚生年金基金解散損失引当金」が294百万円、「支払手形及び買掛金」が253百万円、「繰延税金負債」が230百万円増加したことによります。

純資産は、27,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,140百万円減少しました。主な要因として、「利益剰余金」が722百万円、「その他有価証券評価差額金」が658百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」が2,135百万円減少、「自己株式」が375百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年11月7日発表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は、軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(厚生年金基金解散損失引当金)

当社が加入している「日本界面活性剤工業厚生年金基金」は、平成28年10月25日開催の代議員会において特例解散の決議がなされたため、同基金の特例解散申請時の代行積立不足額に基づく当社の負担額(概算)を引当計上することといたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の「特別損失」に厚生年金基金解散損失引当金繰入額294百万円、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の「固定負債」に厚生年金基金解散損失引当金294百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,609	7,052
受取手形及び売掛金	5,802	5,932
有価証券	340	—
商品及び製品	1,500	1,338
原材料及び貯蔵品	1,765	1,633
繰延税金資産	189	180
その他	379	474
貸倒引当金	△22	△15
流動資産合計	16,565	16,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,158	3,753
機械装置及び運搬具（純額）	1,270	1,120
工具、器具及び備品（純額）	250	215
土地	5,188	5,084
リース資産（純額）	23	89
建設仮勘定	781	721
有形固定資産合計	11,671	10,985
無形固定資産		
	695	544
投資その他の資産		
投資有価証券	9,041	9,245
保険積立金	601	570
長期預金	239	327
繰延税金資産	43	43
その他	331	226
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	10,235	10,391
固定資産合計	22,602	21,921
資産合計	39,168	38,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,532	3,785
短期借入金	1,714	1,706
リース債務	10	18
未払金	882	506
未払消費税等	68	78
未払法人税等	241	228
賞与引当金	553	304
役員賞与引当金	47	26
その他	653	1,035
流動負債合計	7,703	7,690
固定負債		
長期借入金	787	700
リース債務	19	80
繰延税金負債	411	642
役員退職慰労引当金	134	145
厚生年金基金解散損失引当金	—	294
退職給付に係る負債	1,346	1,332
長期預り保証金	158	166
資産除去債務	21	21
その他	48	48
固定負債合計	2,927	3,432
負債合計	10,631	11,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,052	4,052
利益剰余金	19,573	20,295
自己株式	△50	△426
株主資本合計	27,824	28,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852	1,510
為替換算調整勘定	△1,774	△3,909
退職給付に係る調整累計額	△87	△64
その他の包括利益累計額合計	△1,009	△2,462
非支配株主持分	1,721	1,687
純資産合計	28,536	27,396
負債純資産合計	39,168	38,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	23,200	22,011
売上原価	16,177	14,841
売上総利益	7,023	7,170
販売費及び一般管理費	5,307	5,297
営業利益	1,715	1,873
営業外収益		
受取利息	118	83
受取配当金	60	59
持分法による投資利益	565	422
その他	101	78
営業外収益合計	845	642
営業外費用		
支払利息	30	19
為替差損	21	94
その他	64	37
営業外費用合計	115	151
経常利益	2,444	2,365
特別利益		
投資有価証券売却益	35	78
負ののれん発生益	541	—
特別利益合計	576	78
特別損失		
固定資産除売却損	—	34
海外子会社税務関連損失	※ 202	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	294
特別損失合計	202	329
税金等調整前四半期純利益	2,818	2,114
法人税等	535	407
四半期純利益	2,282	1,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	257	257
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,024	1,449

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,282	1,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	658
為替換算調整勘定	△1,353	△1,735
退職給付に係る調整額	17	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△434	△718
その他の包括利益合計	△1,876	△1,772
四半期包括利益	405	△65
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	3
非支配株主に係る四半期包括利益	162	△68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 海外子会社税務関連損失

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

ブラジル連結子会社におけるICMS(商品流通サービス税)の税務関連訴訟に関し、請求額の一部を免除する特別措置を適用したことによる支払額等を特別損失に計上しております。

なお、税務当局からの指摘につきましては、見解の相違に起因するものであります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,724	4,022	3,502	2,950	23,200	—	23,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	633	3	—	20	657	△657	—
計	13,358	4,026	3,502	2,971	23,857	△657	23,200
セグメント利益	507	257	537	402	1,703	11	1,715

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額11百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が15百万円、未実現利益の消去が5百万円、のれん償却額が△9百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

日本シー・ビー・ケミカル株式会社を株式の取得により連結子会社としたことに伴い、第1四半期連結会計期間において負ののれん発生益541百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,104	3,939	3,072	2,895	22,011	—	22,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	689	1	31	20	742	△742	—
計	12,793	3,940	3,104	2,916	22,754	△742	22,011
セグメント利益	596	382	480	393	1,853	19	1,873

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額19百万円のうち主なものは、内部損益取引の調整額が21百万円、未実現利益の消去が5百万円、のれん償却額が△7百万円であります。